

「東海聖書神学塾の基本理念」と「オンライン受講（生）」

序：「東海聖書神学塾」の基本理念と方針

東海聖書神学塾は1985年、「東海地区」の福音宣教と教会形成の前進のために、聖書信仰に立つ諸教会と協力して、教会から送られて来る献身者に、誤りのない神のみ言葉である「聖書と福音主義神学」を教え、教会奉仕の訓練をし、教師と少人数の塾生との人格的交わり（「塾」のイメージ）を通して教会奉仕者を育成する、超教派の教会教育機関としてスタートしました。

①「東海」=教会の主イエス・キリストの摂理的導きの中で、「東海聖書神学塾」は、「東海地区（愛知、岐阜、三重、静岡西部）」の福音伝道と教会形成に奉仕するために創塾されました。しかし、岐阜県北部（飛騨）、三重県南部（南勢）、静岡県西部（遠州）からの塾生は、遠隔地で通塾が困難等という理由（推測）で、35年の間に数名しかいません。しかし、これらの地域にある諸教会から献身者（教会奉仕者）を「オンライン受講生」として受け入れることによって神学塾が名実ともに「『東海』聖書神学塾」になると教会の主心に心から感謝しています。神学塾の運営委員会は、距離的（理由（住居や職場が遠隔地）だけでなく、身体的理由（障碍、高齢等）、家庭的理由（乳幼児や要介護家族等）等で通塾が困難な献身者（教会奉仕者）を、所属教会（牧師先生と教会役員会）がオンライン受講生として入塾させてほしいと要望されれば、喜んで受け入れます。（在塾生がオンライン受講をする場合も同様です）

②「聖書と神学」=「東海『聖書神学』塾」は今後も、教会と協力して献身者（教会奉仕者）を育成する超教派の教会教育機関として、塾生たちに誤りのない神のみ言葉である聖書と福音主義神学を教え続けます。また、塾生たちは神学塾（類比的に教会）の運営委員会（類比的に教会役員会）の指導に従って、礼拝（毎週のチャペルとクリスマス礼拝等）、祈り（塾生祈祷会等）、伝道（夏期教会実習等）、教育（リトリートやCS教師研修会や公開講座等）、交わり（リトリートや愛餐会等）、塾舎（類比的に教会堂）管理、（塾生会の）書記と会計等の奉仕を、他の塾生たち（類比的に教会員）と十分に協議し、分担し、協力し、共に祈りつつ、忠実また熱心に実行することを通して、教会奉仕者として訓練され成長していきます。しかし、オンライン受講生は、塾舎での教会奉仕の訓練ができませんので、ぜひ、塾生の所属教会での牧師先生による教導と奉仕の訓練を十分にしてくださいませようをお願い致します。

③「塾」=創塾した時、名称を「東海聖書神学校」でなく「東海聖書神学『塾』」としたのは、寮（共同）生活はしないけれども、塾舎に集って、教師と塾生が、少人数のクラスで人格的な交わりと建徳的な議論をし、共に礼拝し、共に祈り、共に神の恵みを分かち合う交わりをすることによって、献身者・教会奉仕者として成長していくことを目指したからです。そういう訳ですから、塾生会の塾舎（名古屋市金山）での活動（奉仕訓練）に参加できない「オンライン受講生」にも、オンラインでクラスだけでなくチャペルと祈祷会にも参加して頂きます（2020年度は「ZOOM」アプリを利用）。また、塾舎でのクリスマス礼拝、奉仕を要望される教会での夏期教会実習（3泊4日）、各学期に2回あるリトリート（一泊と一日）、CS教師研修会、公開講座等にも必ず参加して頂きます。